

第4回 フードガイド（仮称）検討会

議 事 次 第

日時：平成17年4月26日（火）

10:00～12:00

場所：経済産業省別館944会議室

- 1 開 会
- 2 フードガイド（仮称）の普及活用戦略について
- 3 その他
- 4 閉 会

配 付 資 料

- 資料1 委員発表資料
- 資料2 農林水産省資料
- 資料3 厚生労働省資料

- 参考1 パブリックコメントの募集について
- 参考2 パブリックコメントに寄せられた意見

参考配布 平成15年国民健康・栄養調査結果の概要

委員発表資料

フードガイド普及啓発戦略について

全国飲食業生活衛生同業組合連合会

○現在の取り組み状況

現在同検討会が昨年来構成されている旨の報告のみ全国機関紙で行った。

(17年1月号)

○当連合会におけるフードガイド活用及び具体的な普及方策

① フードガイドそのものの普及啓発

- ・ 各都道府県組合を通じて支部を経由し会員への周知を図る。
(全国41都道府県→1300支部→11万組合員)
- ・ 年次開催の役職員等講習会等において専門講師を派遣し研修する。
- ・ 組合広報紙及び組合HP等の活用による周知
- ・ 関係団体への協力要請(全国指導センター等)

(* フードガイドそのものの配布及び部数?)

② フードガイドを活用した情報提供

- ・ 専門調理師及びフードコーディネーター等との連携により、出版物の発行及び、研修会等を全国数箇所において開催させることにより、新たなメニュー開発や地域における地産地消促進運動にも効果が期待できる。

③ フードガイドを用いた商品開発

- ・ 上記同様のプロセスによりバランスのとれた新メニュー開発、普及を促進する。

○各ターゲットに対してのフードガイド普及啓発

- ・ 男性肥満者に対する普及啓発
- ・ 単身者に対する普及啓発
- ・ 子育て世代に対する普及啓発

それぞれの個店での客層に応じた普及啓発活動を組合において指導してゆく

例えばPOP類、ポスターの作成や健康一言メモ等、個店における創意工夫が必要

○ ターゲットに対する問題提起に対応する取り組み

① 野菜不足の解消

外食の機会が多いほど野菜摂取量が少ないというデータからみても外食における野菜を取り込んだメニューの開発及び調理方法の改善を促進する。

（1食分に含まれる野菜の目安量等を参考に）

② 朝食欠食の解消

ビジネス街等でのモーニングサービス実施の実態調査及び促進

③ 脂質への配慮

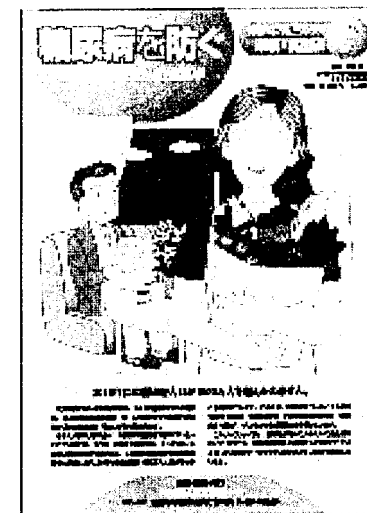
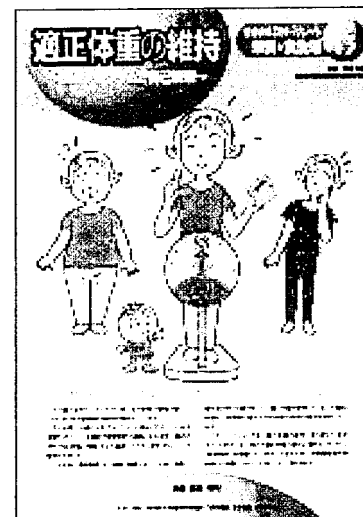
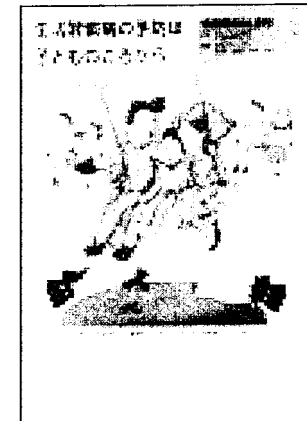
揚げ物料理の改善、専門店においては油脂の選択（健康エコ油等）食品メーカー等とのタイアップにより商品開発及び斡旋等
摂取量の年代別把握を行い調理方法の改善や新メニューの開発促進を行う。

フードガイド啓発普及活動

(社)日本栄養士会

1. 現在の栄養食生活に関する啓発普及活動

- ① 栄養食生活媒体の作成、配布活動
 - ◆ 健康増進のしおりを年間4種(各70,000部以上)を作成配布
 - ◆ 健康日本21リーフレットを年間2~4種(100,000~50,000以上)を作成配布



② 講習会の開催

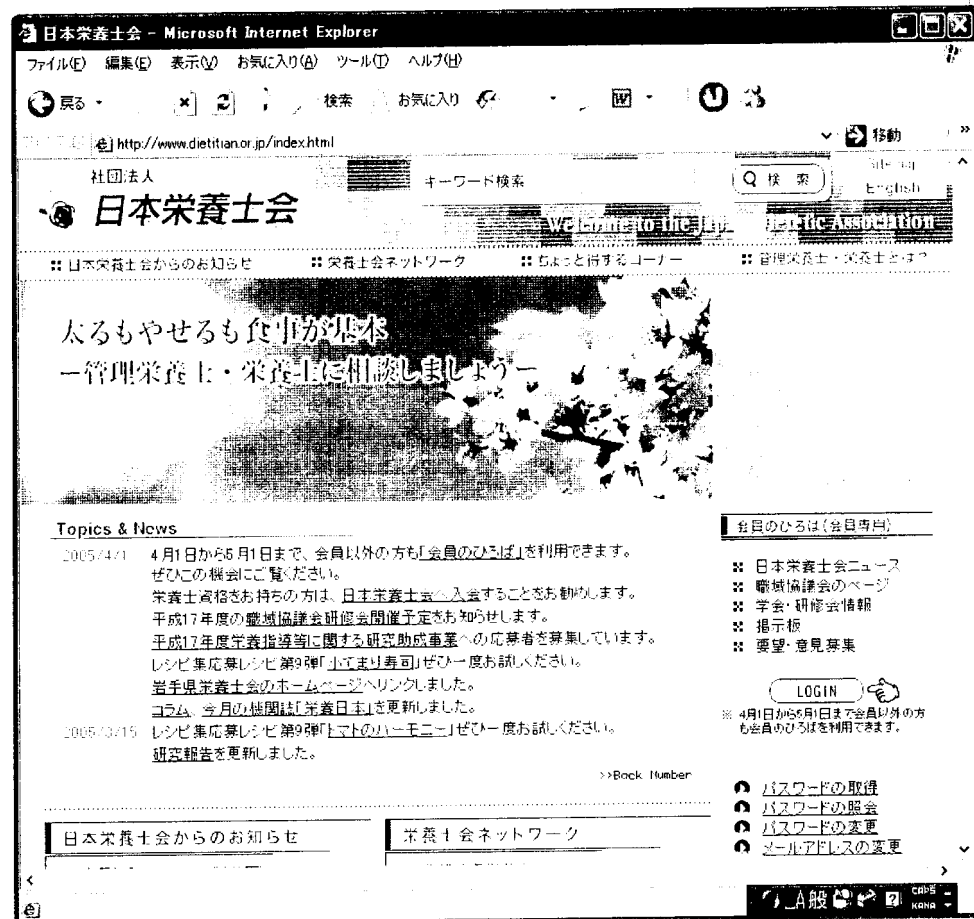
- ◆ 健康づくり提唱のつどいを全国8~10会場で開催
- ◆ 健康づくり米食栄養学術講習会を全国9会場で開催(農林水産省と共催)
- ◆ 各地で開催されるイベントで栄養相談コーナーを設置
- ◆ 高齢男性向け等、各種料理教室の開催
(数県栄養士会)



③ ホームページ上での情報提供

◆ 日本栄養士会ホームページ(アクセス数1,062,838) 4月13日

◆ 全国35都道府県
でホームページ
を開設し、情報
提供



④ その他

- ◆ 電話による栄養相談事業
(北海道・宮城県・千葉県・山梨県・大阪府・鳥取県・岡山県・長崎県・大分県・鹿児島県・沖縄県)
- ◆ 地方紙とタイアップした栄養食事に関する記事の提供 (千葉県・大分県・宮崎県)

2. 今後の栄養食生活に関する啓発普及活動

- ① 機関誌「栄養日本」に掲載
- ② 栄養に関する教材・指導用媒体の作成、配布
- ③ ホームページに掲載
- ④ フードガイドに基づく栄養相談事業の展開を会員に周知
- ⑤ フードガイドをテーマに講習会を実施

● **栄養日本 12**



JDA
JAPANESE DIETETIC ASSOCIATION

● **食生活指導 13**



● **食生活指導 13**

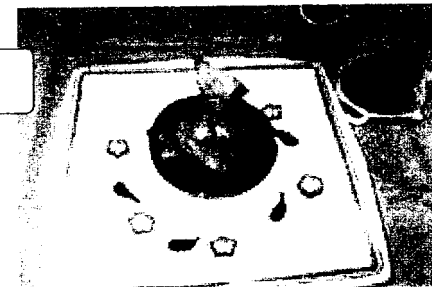
小てまり寿司



- ⑥ フードサービス業界と連携し、ヘルシーメニュー等の提供にあたりフードガイドをと取り入れて実施
- ⑦ 会員が業務遂行するにあたり、日常活動の中でフードガイドに基づく栄養相談・指導を実施
- ⑧ 栄養ケア・ステーション事業の中でフードガイドに基づく栄養相談・指導を実施

エネルギー	389kcal
たんぱく質	15.2g
脂質	3.8g
炭水化物	68.6g
食塩	2.3g
カリウム	222.5mg
鉄	1.24mg

トマトのハーモニー



3. ターゲットを絞った活動計画

- ① 男性肥満者に対する普及啓発事業
会員である管理栄養士が、各種健診後に、境界領域にある者に対して、肥満が要因となる糖尿病等の疾病の危険性とフードガイドを基に栄養・食事指導を行うこととするが、担当者に研修を課すこととしているので、フードガイドについて徹底を期す。（特に、産業保健の現場にいる企業・健康保健組合に所属する会員を中心に）

② 単身者に対する普及啓発事業

単身者は、食生活が単調になりやすく、また、外食の機会が増加すると考えられることから、栄養に関する教材・指導用媒体を作成し、普及に努めるとともに、会員（特に、産業保健の現場にいる企業・健康保健組合に所属する会員を中心に）が日常活動の中で実施している栄養指導で注意を喚起する。

③ 子育て世代に対する普及啓発事業

食育と関連付けて、（近い将来母親になる）若い女性にやせ願望があることから、フードガイドの普及とあわせて、教材・指導用媒体を作成し、普及に努めるとともに、会員が日常活動の中で実施している栄養指導で注意を喚起する。

④ 児童・生徒に対する普及啓発事業

学校栄養職員、栄養教諭が、フードガイドをもちいて、児童、生徒に対して栄養教育を実施する。